

# 令和8年度学校運営協議会委員研修会



日 時：令和8年9月5日（土）13:30～15:30

場 所：和歌山県東牟婁総合庁舎

テーマ：「話せば変わる つながれば進む」

参加者：98名（参集39名 オンライン46名 登壇者3名 事務局10名）

【事例発表】北山村コミュニティスクール協議会 会長 中岸 さやか  
北山村教育委員会 副主査 村林 卓郎

👉 熟議を  
大切に！

「話し合い、話し合う」話し合いを重ね、よりよい学校づくり。

👉 6つの  
取組！

- ①人選（関わる団体組織と人数） ②会議開催日の回数と開催日の決め方  
③協議内容の見える化 ④推進フォーラムの報告  
⑤事前会議・事後会議 ⑥スローガンの設置

北山村コミュニティスクール協議会 スローガン  
まるごと たのしむ あがらの村



【講 演】文部科学省CSマイスター 大門 和喜  
「テーマ型コミュニティ・スクールで深まる学び  
～産学官協働による社会に開かれた教育課程の実現～」

👉 CSは課題解決のためのツール！



学校と地域が教育目標を共有し、その実現に向けて協働する。

○エリアにとらわれない多様な人材の確保

学校の教育目標の実現に必要な人材や機関を、地域に限定せず選定。

・大学教授 ・企業関係者 ・弁護士 ・卒業生など

「学校の目標実現に必要な人を集める」という発想の転換が重要。

○社会に開かれた教育課程の実現（大阪府立富田林中学校・高等学校）

CSを活用して企業や大学等と連携しながら探究学習を展開。

生徒が主体的に学ぶ機会を創出。

○働き方改革

コーディネーターが学校と企業等との日程調整を担当。

教職員の負担軽減につながる。

教員は児童生徒への指導や授業づくりに専念。

CSとは未来へのかけはし

